

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	ホテルの里づくり事業			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 8	-
【施策名】 環境の保全	総合計画書 (ページ)	99	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 6 環境保全費	事業 4 ホテルの里づくり
-----	---------	-----------	-----------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民	→人口 85,337人(平成31年4月1日時点)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	飼育したホテルの幼虫を野火止用水のせせらぎに放つことによって、ホテルが用水に定着し、自然に繁殖し、市民に親しまれる自然環境の場となるようにする。	→観察されたホテルの数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	野火止用水のせせらぎにおいて、ホテルが生息できる環境を目指すため、室内及びせせらぎでホテルの飼育増殖を行い、また、せせらぎの環境整備に努めた。	→放流したホテルの幼虫数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337		
	成果指標	②の数値	匹	16	26	52		
	目 標	②の目標値	匹			50	50	50
		目標値設定の考え方	極力、自然の状態でホテルが生息できるようにする。					
	活動指標	③の数値	匹	62	96	280		

3 経費	事業費(実績)		円	691,307	711,039	727,762	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	691,307	711,039	727,762	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	50.0	50.0	50.0	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	215,000	210,000	210,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	906,307	921,039	937,762		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	平成5年度から開始し、環境啓発の一環として事業を予算化した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	この事業は専門性が高いことから、専門知識のある作業専従者を委託し、継続事業としている。近年は、より自然環境の重要性が問われており、国も生物多様性の問題について法整備をしており、市町村の係わり方が重要視されている。

仕 事 の 内 容	ホテルの里づくり事業			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 宮鍋 和志

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	ホテルの里づくり事業は、市議会からも要望が出されてきた経緯がある。 平成30年度は、テレビの取材依頼、市民からの問い合わせ等があり、関心度が高いことがわかる。ボランティアやホテルの会の方々も積極的に協力している状況がある。

6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法
	③事業協力 ⑥情報提供・情報交換 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
市立小学校の一部でもホテルの飼育に取り組んでおり、連携も視野に入れることを検討したい。		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への意識啓発と次世代に引き継ぐべき自然環境を保全しなくてはならない。</li> <li>・自然環境を守り育て、次世代に引き継ぐことが大切であり、各種環境団体や市民と協力し、啓発活動を通して人材育成をする必要がある。</li> <li>・野火止用水の水質・水温がホテルに適さない状況にあり、改善が必要である。</li> <li>・子どもなどがせせらぎに入水し、荒らされてしまう事案が多数あり、対応に苦慮している。</li> <li>・ホテルの飼育を委託している方が高齢なため、すぐにも、後継者を探さなくてはならない。</li> </ul>
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
	なし
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテルの飼育を委託している方が高齢なため、後継者を探すことが、喫緊の課題である。</li> </ul>	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の高い業務内容なため、現在の専従者をとおして、後継者を探しているが、みつかっていない。</li> </ul>		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。